

豊島区における学校プールの今後の方針について（概要版）

1. 検討の経緯

- ・猛暑の影響緩和、水泳指導のレベルアップ、教員負担軽減などの背景から近年、学校の水泳指導の外部化事例が増加
- ・豊島区でも令和4年度から学校プールの方針について検討を開始

2. 学校プールの現状

- ・学習指導要領に基づき、各校のプール施設で水泳指導を実施
- ・例年6月中旬～7月中旬に実施
小学校は夏休みの水泳指導も実施
- ・プールの維持管理のうち、日常管理業務は主に教員が実施

3. 学校プールにおける課題

- ・水泳指導の質の向上や安全管理体制
（特に体育専科教員のいない小学校）
- ・夏季高温化による水泳指導日程の不安定化、児童生徒の熱中症の懸念
- ・プール施設の日常管理に伴う教員負担

4-1. 水泳指導の外部化等について（トライアル事業）

- ・令和5年度及び6年度に「校外温水プールの利用」「学校プールへの民間指導員招致」の2パターンで、計5校でトライアル事業を実施
- ・アンケート調査では、児童、保護者、教員から肯定的な意見が多数

年度	学校名	類型	実績
R5	仰高小	校外温水プール利用・徒歩	3/3(2学年合同で1コマ)
R6	駒込小		22/22(各学年3～4コマ)
	富士見台小	校外温水プール利用・バス	6/6(各学年1コマ)
	西巣鴨小	民間指導員招致	10/12(各学年2コマ)
	高南小		5/12(各学年2コマ)

4-2. 水泳指導の外部化等について（コスト）

類型	年額
民間指導員招致	約200万円
校外温水プール利用・徒歩	約300万円～約650万円

※6学年×5コマ（10時限）＝30コマのコスト

※校外温水プール利用でバスを利用する場合は、年間600万円～900万円のコストが上乗せになる。

5. 学校プールの今後の方針について

- （1）指導面の対策
 - ・水泳指導のレベルアップや安全対策などを目的として、小学校教員を対象に、民間指導員との連携による研修実施を検討する。
 - ・民間指導員による子どもたちへの直接指導については、研修による指導面の向上や、下記に掲げる各種対策の効果等を踏まえ、今後も引き続き検討を進めていく。
- （2-1）施設における暑熱対策
 - ・暑熱対策として、各校のプールへの日除け設備やミスト設置等を検討する。
 - ・大規模改修時には、庇の拡張、塩素管理が簡易にできるろ過機や自動給水停止装置の導入、プールサイドの遮熱対策等を行う。
 - ・学校改築時には、可動式屋根などを備えたプールを整備する。
また、プールの共用化やスポーツ施設との複合化も検討する。
- （2-2）運用面における暑熱対策
 - ・水泳指導の実施時期を6月上旬～9月中旬に延長するなど、柔軟に検討する。
- （3）教員負担軽減の対策
 - ・プールの日常清掃、給排水管理、ろ過機運転管理、水質チェックなど日常業務の外部委託化を検討する。
 - ・自動給水停止装置がない未改築校を優先して検討する。
- （4）改築工事期間中の対策
 - ・仮校舎にプール施設が設けられない場合は、仮校舎近傍の校外温水プール施設を利用する。

豊島区における学校プールの 今後の方針について

令和6年11月 豊島区教育委員会

< 目 次 >

1. 検討の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
2. 学校プールの現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
3. 学校プールにおける課題・・・・・・・・・・・・・	P 5
4. 水泳指導の外部化等について・・・・・・・・・・	P 6
5. 学校プールの今後の方針について・・・・・・・・	P 9
参考資料 1 区立小・中学校のプール施設の現状について・・・・・・・・	P 1 2
参考資料 2 令和 6 年度の水泳指導外部化に関するアンケート結果概要・・・・・・・・	P 1 4
参考資料 3 豊島区内の温水プール施設について・・・・・・・・・・・・・	P 1 9
参考資料 4 検討経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2 1

1. 検討の経緯

- ・猛暑の影響緩和、水泳指導の質の向上、プール維持管理の教員負担の軽減、コストの合理化など背景から、近年、学校の水泳指導において、校外温水プールや外部指導員を活用するなど「水泳指導の外部化」の事例が増えている。
- ・本区においても、区内学校施設における水泳指導、プール施設管理などの課題を踏まえ、令和4年度から検討組織を設置して、学校プールに関する方針の検討を開始した。

2. 学校プールの現状

(1) 学習指導要領上の位置づけ

①領域の構成

小学校 低学年	領域名を「水遊び」とし、内容を「水の中を移動する運動遊び」及び「もぐる・浮く運動遊び」で構成
小学校 中学年	領域名を「水泳運動」とし、内容を「浮いて進む運動」及び「もぐる・浮く運動」で構成
小学校 高学年	領域名を「水泳運動」とし、内容を「クロール」、「平泳ぎ」及び「安全確保につながる運動」で構成
中学校	領域名を「水泳」とし、内容を「クロール」、「平泳ぎ」「背泳ぎ」「バタフライ」「複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすること（中学3年）」及び「スタート及びターン」で構成

②内容の取り扱い

小学校	・「水遊び」及び「水泳運動」の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれらを取り扱わないことができるが、これらの心得については、必ず取り上げること。 ・「水遊び」及び「水泳運動」を扱わないことのできる条件としては、学校及びその近くの公営のプール等の適切な水泳場がない場合が挙げられる。しかし、その場合であっても、事故防止等の観点からこれらの心得については必ず取り上げることを示している。
中学校	・「水泳」の運動については、第1学年及び第2学年においては、クロール又は平泳ぎのいずれかを含む二つを選択して履修できるようにすること。第3学年に置いてはクロールから複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることの中から選択して履修できるようにすること。 ・水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができるが、水泳の事故防止に関する心得については、必ず取り上げること。

(2) 水泳指導の実施状況

①実施期間

各校6月中旬～7月中旬に実施

②実施時程（コマ数）

小・中ともに10時限前後 小学校は1コマ2時限につき 5コマ前後

③1回あたりの授業時間

小学校：45分×2時限＝90分 中学校：50分×1時限＝50分
(いずれも更衣、準備体操、休憩などを含む)

④実施内容

学習指導要領に基づき、教員の指導により実施。

安全確保のため、教員3名体制で実施

⑤令和6年度の水泳指導の実施状況（1学年あたり）

	平均予定時数	平均実施時数	平均実施率（※）
小学校	9.9	8.8	88.8%
中学校	8.4	8	95.2%

※高温など天候により中止になった時数が、小学校は平均1.7時限あり。

うち、0.6時限は日程振替により対応している。

(振替実施なしの場合の平均実施率は82.8%)

※中学校は天候中止の振替実施なし。

⑥夏休みの水泳指導（小学校のみ）

ア) 実施目的等

児童の体力（泳力）の向上を目的として授業とは別に実施

教員が主に指導するが、教員負担軽減のため外部の監視員を臨時的に配置している。

イ) 令和6年度の実施状況（小学校22校の合計）

	予定回数	実施回数	平均実施率
小学校	286	110	38.5%

※7月下旬～8月上旬に実施

※夏休み期間は気温・水温ともに高く、熱中症防止の観点から、中止になる事例が増えている

また、授業とは異なり、振替実施を行わないため、実施率が低い

(3) 各学校のプール施設の現状

参考資料1のとおり

(4) 学校プールの管理について（教員と業者委託の区分）

項目	実施主体
定期清掃	業者委託
ろ過機点検	
プール水の補給	教員実施 (清掃は一部学校で用務により実施)
ろ過機運転、塩素補給	
日常清掃	
プール水質確認	

(5) 学校プール維持管理にかかるコスト（1校あたり・年間）

①維持管理費（令和5年度決算額）

内訳	コスト（円）	備考
水道費	873,391	プール専用水道のある学校の平均値
清掃費	60,500	
薬品費	206,097	
水質調査費	66,844	
夏季プール監視員費	51,700	
プール補助員費	17,280	単学級の学校などで配置
ろ過機点検費	38,690	
受水槽点検費	148,500	プール用の受水槽の清掃費など
修繕費	1,408,694	令和5年度の修繕実績値
合計	2,871,696	

※うち、定期的にかかる維持管理コスト：約 150 万円

修繕に係るコスト：約 140 万円

②プール改修費（参考）

- ・改修工事費は約 1 億 2000 万円（施設整備課による見積額）
- ・改修周期は約 20 年（年度に均すと約 600 万円）

3. 学校プールにおける課題

(1) 水泳指導の人的面の課題

- ・ 小学校の教員採用試験において水泳実技を廃止する自治体が増えてきており、東京都でも水泳実技を実施していない。
- ・ そのため、体育専科の教員がいない小学校において、水泳指導の質を向上する余地がある。
- ・ 見学者の対応などにより、児童の指導や見取りに十分な時間を割けていないケースがある。
- ・ 他自治体では、水泳指導中の死亡事故の事例もあり、アンケート調査で保護者から安全管理を徹底してほしい旨の意見を数多く寄せられている。

(2) 水泳指導を行うための施設面の課題

- ・ 学校プールの多くは屋外プールであり、猛暑や悪天候によって度々水泳指導が中止となるなど、安定的な水泳指導実施に課題がある。
- ・ 屋根がついている室内型のプールが整備されている学校では、概ね安定的な水泳指導が実現しているが、その他の学校では、中止や日程振り替えを余儀なくされている事例が多い。
- ・ 夏期高温化の影響で、熱中症が懸念される。現在は、水分補給や休憩など運用面で熱中症対策を講じているが、施設面での対策が追いついてない。

(3) プール維持管理に係る教員負担の課題

- ・ 水の止め忘れや機械の誤操作等による事故も多数報道されており、水質管理等を担う教員の負担が懸念される。
- ・ 日常管理を毎日行う必要があり、水泳指導期間中、教員の仕事が増えているのが現状である、
- ・ 令和6年7月に文部科学省から「学校における働き方改革に配慮した学校プールの管理の在り方について」が発出され、プール維持管理に係る教員負担を軽減するよう各自治体での検討を依頼されている。

4. 水泳指導の外部化等について

(1) 水泳指導の外部化の概要

①校外温水プール利用

徒歩又はバスにて区有または民間の温水プール（校外温水プール）に移動し、当該施設の民間指導員と教員の連携により水泳指導を行う。

②民間指導員招致

学校プールに民間指導員を招致し、民間指導員と教員の連携により水泳指導を行う。

(2) 令和5年度～6年度のトライアル事業

①実施日程等

年度	学校名	類型	概要
令和5年度	仰高小学校	徒歩移動による校外温水プール利用（東京スイミングセンター）	各学年1回ずつ実施 （実績：3コマ／3コマ）
令和6年度	駒込小学校	徒歩移動による校外温水プール利用（東京スイミングセンター）	各学年3～4回実施 （実績：22コマ／22コマ）
	富士見台小学校	バス移動による校外温水プール利用（南長崎スポーツセンター）	各学年1回ずつ実施 （実績：6コマ／6コマ）
	西巣鴨小学校	民間指導員招致	各学年2回ずつ実施 （実績：10コマ／12コマ）
	高南小学校	民間指導員招致	各学年2回ずつ実施 （実績：5コマ／12コマ）

※仰高小学校は、2学年合同実施

※西巣鴨小学校は、1・2年生のみ2学年合同実施し、加えて特別支援学級における指導も実施

②アンケート調査の概要

- ・児童、保護者、教員にアンケート調査を実施
集計結果は巻末の参考資料2のとおり
- ・約70%の児童が外部化によって「水泳がうまくなった」と回答
- ・保護者及び教員の約98%が外部化を肯定的に評価
- ・保護者からは「水泳指導中の安全確保」、「水泳指導の充実・強化」、「熱中症対策」に重点的に取り組むべきという意見が多数あり
- ・外部温水プール利用の場合、移動にかかる負担を懸念する意見あり

(3) 区内の校外温水プール施設の状況

参考資料3のとおり

(4) 水泳指導の外部化にかかるコスト

①外部化想定コスト（1校あたり）

類型	実施コスト
民間指導員招致	200 万円
校外温水プール（徒歩利用）	300 万円～650 万円
校外温水プール（バス 2 台利用）	900 万円～1550 万円

※いずれも 6 学年×5 コマ（10 時限）の実施を想定

※校外温水プールの場合、児童数等に応じて施設利用料が異なる

②考察

- ・水泳指導外部化については、民間指導員招致が最も安価であるが、いずれの類型でも追加コストが発生する事業である。
- ・校外温水プールの利用については、3 ページに記載した学校プールの維持管理費を踏まえると、修繕や改修などの経費も加味すれば、学校プールを廃止によって、コスト面でのメリットが生みだせる可能性がある。しかし、夏休み期間中の夏季水泳指導や着衣泳は校外温水プールでは受入が難しいケースがある（※）ため、学校プールを即時廃止することは困難である。

（※区立温水プール施設では、夏休み期間は地域住民の利用が多い繁忙期であり、貸切利用が困難である。また、着衣泳については、実施後に一般利用者への配慮のため水の入れ替えが必要である。）

- ・夏季水泳指導は児童の体力向上や居場所づくりのために重要な取り組みであり、着衣泳は水難事故での命を守るために、豊島区では全校で展開している重要な取り組みである。
- ・よって、校外温水プールを利用する場合でも、学校プールを維持する必要があるため、そのためのコストが発生するため、現時点において、校外温水プールの利用はコスト面の優位性が認められない。
- ・なお、校外温水プールの利用にバス移動が必要な場合は、さらなるコストが発生するため、民間指導員招致の方法と比較して 1 校当たり最低でも 700 万円程度のコストが上乗せになる。

(5) 他区の実施状況（令和6年9月調査）

	区数	内訳（分母は小学校数）	備考
外部 温水 プー ル 利用	6 区	目黒区（2/22 校）、大田区（3/59 校）、 荒川区（1/24 校）、板橋区（1/51 校）、 葛飾区（25/49 校）、豊島区（4/22 校）	葛飾区のみ全区 的な展開を予定 他はトライアル または局所実施
指導員 招致	3 区	大田区（1/59 校）、世田谷区（1/60 校）、 豊島区（2/22 校）	全てトライアル 実施
未実施	16 区		

※葛飾区では、学校から 500m以内の外部温水プールは全て徒歩移動

学校改築に際しては、プールを整備しない方針

※目黒区では、鷹番小からセントラルスポーツ（約 200m）まで徒歩移動

学校改築に際しては、共用化や他施設のプール利用を検討する方針

※板橋区では、赤塚小から赤塚体育館（約 200m）まで徒歩移動

※大田区では、大森第五小から平和島公園プール（約 600m）まで徒歩移動

(6) 水泳指導の外部化の効果と課題

	効果	課題
民間指導員 招致	・指導の質が向上する ・安全管理が徹底できる ・教員が児童の見取り（評価）に割ける時間が増える	・天候によって授業が中止になった場合、中止の判断が水泳指導当時の朝になるため、その場合、日程振替が困難
外部温水 プール利用	・指導の質が向上する ・安全管理が徹底できる ・教員が児童の見取り（評価）に割ける時間が増える ・天候に左右されず安定的な授業実施が可能 ・熱中症のリスクを軽減できる	・移動中の安全確保の徹底が必要である ・施設を貸し切りで利用するため高コストである ・施設までの移動時間がかかる ・近傍に温水プール施設のない学校が利用困難 ・夏季水泳指導や着衣泳の受け入れが難しい

5. 学校プールの今後の方針について

(1) 検討の方向性

- ・学校における水泳指導の課題を踏まえ、大きく以下の方針で今後の水泳指導を進めていく。

1	水泳指導のレベルアップや安全対策など指導面の対策
2	夏期高温化の影響の緩和などの対策
3	プール施設の維持管理の委託化など教員負担軽減の対策

(2) 具体的な対策

①指導面の対策

水泳指導のレベルアップや安全対策などを目的として、体育専任の教員のいない小学校を対象に、民間の水泳指導員との連携による教員向けの研修の実施を検討する。

なお、民間指導員による子どもたちへの直接指導については、研修による指導面の向上や、以下に掲げる各種対策の効果等も踏まえながら、今後も引き続き検討していく。

②施設面における暑熱対策

熱中症対策や安定的な水泳指導の実施のため、施設面での対策を講じる。

ア) 熱中症対策のための施設改修

- ・熱中症を抑止するため、各校プールへの日除けシート設置を検討する。
- ・既存のプール底などにミストを設置するなど暑熱対策を検討する。
- ・上記対策は、プールに屋根のある学校を除き、令和7年度以降、可能な限り速やかに全校に展開する。
- ・プールサイドに一定の面積がある学校については、可動式のテントなどの活用も検討する。

<日除けシート設置イメージ>



高南小学校



西巣鴨小学校

イ) 大規模改修による設備面等の改修

- ・20年周期を目安として計画的に実施する。
- ・プールサイドの底の拡張、塩素投入などの運転管理が簡易にできるろ過機の導入、自動で給排水が可能なシステムの導入などを検討する。
- ・既にプールサイドは遮熱加工をされているが、最新型の塗装やシートを活用するなど、より高度な遮熱対策を行う。

ウ) 学校改築時のプール整備

- ・可動式の屋根などを備えた全天候型のプールを整備する
 - ・プールの共用化については、以下のとおり検討する。
- なお、既存校のプールを他校と共用化することについては、移動の負担、着や待機場所の確保、時程の確保などの課題があり難しい。

- ・池袋本町小中連携校では小学校・中学校で1つのプールを共用しており、今後の予定している朋有小学校と西巣鴨中学校の小中連携校においても、プールの共用化を検討する。
- ・今後の学校改築においても、共用化の可能性について検討する。また、スポーツ施設との複合化による共用化についても検討する。
- ・周辺各校とのプールの共用化を行う場合は、更衣室や控室の設置、可動床の導入、温水プール化などを検討する。

③運用面における暑熱対策

水泳指導の実施期間についても、運動会など学校行事や児童・生徒の健康診断等との整合性を踏まえつつ、6月上旬～9月中旬に延長するなど柔軟に検討する。

	上旬	中旬	下旬
6月			
7月			
8月			
9月		一部学校で実施	

【現在の水泳指導日程】

	上旬	中旬	下旬
6月			
7月			
8月			
9月			

【期間変更の案】

④教員負担軽減の対策

文科省から発出された通知も踏まえ、プール施設維持管理にかかる教員の負担軽減を図るため、以下の事業を実施する。

- ・水泳指導の実施期間中、プールの日常清掃、給排水管理、ろ過機運転、水質チェックなど日常業務の外部委託化を検討する。
- ・外部委託については、業務効率性や学校現場への親和性などを鑑みて、学校用務業務の受託事業者を想定する。
- ・外部委託については、プール給水の自動停止設備が整備されていない未改築校から優先的に実施を検討する。

⑤改築工事期間中の対策

改築工事期間中の仮校舎には、平和小学校跡地に整備した「学び舎ぴいす」のように、敷地の面積、コスト、工期などの都合上、プールを設けられないケースがある。その際は、仮校舎近傍の外部温水プールを利用する。

参考資料1 区立小・中学校のプール施設の現状について

小 学 校	児童数 (R6.5)	学校 改築	プール 改修等年度 (経過年数)	プール 屋根	プール サイド 庇	プール 場所	プールへの視線	ろ過機 整備年度 (経過年数)	ろ過機 状況(※1) (R6点検)	塩素 保管	プール 給水 自動停止	更衣室	更衣室 利用状況 (R6)	学区内の温水プール施設	R6水泳指導 実施時期	R6水泳指導 中止時限数 (雨天、高温など)	その他
仰 高	350	予定あり	H17 (19)		16㎡	校庭内		H23 (12)	△	ろ過機室 (※2)	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも10㎡	利用なし (狭いため)	東京スイミングセンター(約200m) 三菱養和巣鴨スポーツセンター(約100m)※ 要協議	6～7月		6 R5トライアル 実施済
駒 込	542	予定あり	R3 (3)		6㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	H25 (10)	△	ろ過機室	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも9㎡	利用なし (狭いため)	なし (約400mに東京スイミングセンター)	6～7月		0 R6トライアル 実施済
巣 鴨	335		H21 (15)		13.5㎡	敷地外 (歩行距離約 200m)	× (擁壁下)	H21 (14)	○	倉庫	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも13㎡	女子のみ利用	なし	6～7月		0
清 和	386		R1 (5)		16㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	H25 (10)	△	倉庫	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも12㎡	高学年のみ利用	巣鴨体育館(約200m)	6～7月		7
西 巣 鴨	335		H25 (11)		8㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	H25 (10)	○	倉庫	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも12㎡	利用なし (狭いため)	なし (約300mにセントラルウェルネスクラブ上池袋)	6～7月		2 R6トライアル 実施済
豊 成	383		H25 (11)	○ (体育館 下)		体育館下		H25 (10)	○	薬品庫	あり	プール棟内(空調なし) 男女とも10㎡	利用なし (狭いため)	セントラルウェルネスクラブ上池袋 (約300m)	6～9月		0 水温管理が困難
朋 有	571	予定あり	R4 (2)		18㎡	校庭内	× (総合体育場)	H27 (8)	× (修繕予定)	ろ過機室	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも9㎡	利用なし (教室のほうが便 利なため)	なし	6～7月		0
朝 日	269		H22 (14)		8㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	R4 (1)	○	ろ過機室	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも6㎡	利用なし (空調がないため)	なし	6～9月		8
池 袋 第 一	326	○	R4 (2)	○		屋上		R4 (1)	○	機械室	あり	プール脇(空調あり) 男子8㎡ 女子10㎡	利用あり (男子は教室の場 合あり)	池袋スポーツセンター(約900m)	6～9月		0 シーズンオフは広 場として利用
池 袋 本 町	714	○	H28 (8)	○		屋上		H27 (8)	○	機械室	あり	プール脇(空調あり) 男女とも25㎡	半分のクラスが利 用	なし	6～9月		0 池袋中学校と 共用
池 袋 第 三	531	○	H28 (8)		30㎡	屋上		H28 (7)	○	ろ過機室	あり	プール脇(空調あり) 男子12㎡ 女子14㎡	利用なし (狭いため)	なし	6～7月		8
池 袋	246		H29 (7)		7.5㎡	屋上		H29 (6)	○	ろ過機室	なし	なし	—	なし (約500mに池袋スポーツセンター)	6～9月		0
南 池 袋	571	○ (プール 未改築)	H15 (21)		11㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	H15 (20)	× (修繕予定)	機械室	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも21㎡	利用あり (男子は教室の場 合あり)	雑司が谷体育館(約500m)	6～7月		6
高 南	468		H21 (15)		12㎡	屋上	× (高層住宅)	R5 (1)	○	倉庫	なし	プール脇(空調なし) 男女とも15㎡	利用なし (狭いため)	スポーツクラブネサンス早稲田 (約300m)	6～7月		24 R6トライアル 実施済
目 白	576	○	H26 (10)		42㎡	屋上		H26 (9)	× (修繕予定)	ポンプ室	あり	プール脇(空調あり) 男女とも15㎡	利用あり (男子は教室の場 合あり)	なし (約500mに雑司が谷体育館)	6～9月		0
長 崎	282		H29 (7)		7㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	H29 (6)	△	倉庫	あり	プール棟内(空調なし) 男女とも7㎡	利用なし (狭いため)	なし	6～7月		8
要	403		H25 (11)		7.5㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	H25 (10)	△	倉庫	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも12㎡	利用なし (2学年合同利用で狭 い)	フィットネスクラブエポック(約100m) ※25mプールなし	6～7月		8
椎 名 町	419		R5 (1)		35㎡	敷地外 (歩道橋直 結)	△ (周辺住戸あり)	R5 (0)	○	ろ過機室	あり	プール棟内(空調なし) 男女とも11㎡	利用なし(老朽化の ため R6以降は使用予 定)	南長崎スポーツセンター(約300m)	6～7月		0
富 士 見 台	313		H27 (9)		10㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	H27 (8)	△	ろ過機室	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも11㎡	利用なし (安全管理のため 夏 休みプールのみ利用)	なし	6～7月		8 R6トライアル 実施済
千 早	334		H20 (16)		7.5㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	H25 (10)	○	ろ過機室	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも13㎡	高学年のみ利用 (低学年は安全管理の ため教室)	なし	6～7月		8
高 松	561		H26 (10)		22㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	H26 (9)	○	薬品庫	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも11㎡	利用なし (狭いため)	なし	6～7月		10
さ く ら	387		H28 (8)		10㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	H28 (7)	△	ろ過機室	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも15㎡	利用なし (狭いため)	ピーウォッシュ(約600m)	6～7月		8

中 学 校	生徒数 (R6.5)	学校 改築	プール 改修等年度 (経過年数)	プール 屋根	プール サイド 庇	プール 場所	プールへの視線	ろ過機 整備年度 (経過年数)	ろ過機 状況(※1) (R6点検)	塩素 保管	プール 給水 自動停止	更衣室	更衣室 利用状況 (R6)	学区内の温水プール施設	R6水泳指導 実施時期	R6水泳指導 中止時限数 (雨天、高温など)	その他
駒 込	157	予定あり	H22 (14)		33㎡	校庭内	△ (周辺住戸あり)	H22(14)	○	ろ過機室	あり	プール棟内(空調なし) 男女とも10㎡	女子のみ利用	東京スイミングセンター(約400m) 三菱養和巣鴨スポーツセンター(約250m)※ 要協議	6～9月	0	
巣 鴨 北	520	○	R1 (5)		40㎡	屋上		R1(5)	○	ろ過機室	あり	プール脇(空調あり) 男女とも25㎡	更衣室	巣鴨体育館(約1km) セントラルウェルネスクラブ上池袋 (約750m)	6～7月	0	
西 巣 鴨	230	予定あり	H22 (13)		8㎡	校庭内	× (高層住宅)	H23 (13)	○	倉庫	なし	プール棟内(空調なし) 男女とも15㎡	更衣室	なし	6～9月	8	
池 袋	360	○	H28 (8)	○	50㎡	屋上		H28 (8)	○	機械室	あり	プール脇(空調あり) 男女とも25㎡	更衣室	なし	6～7月	0	
西 池 袋	483	○	H24 (12)			屋上		H24(12)	○	機械室	あり	プール下階(空調あり) 男女とも25㎡	更衣室	なし	6～7月	2	
千 登 世 橋	360	○	H13(23)		なし	屋上		H13(23)	× (修繕予定)	機械室	あり	1階(空調なし) 男女とも20㎡	更衣室	雑司が谷体育館(約350m) スポーツクラブルネサンス早稲田(約400m)	6～9月	0	
千 川								R6～R9改築工事中 仮校舎にプール施設なし 南長崎スポーツセンターを利用									
明 豊	418	○	H17 (19) (R7改修 予定)		25㎡	屋上		H17(19)	× (修繕予定)	機械室	あり	4階プール前(空調なし) 男女とも15㎡	更衣室	南長崎スポーツセンター(約1.2km) ビーウォッシュ(約600m)	6～9月	0	

※1 ○:異常なし △:やや不良だが経過観察 ×:不良
※2 塩素が原因でろ過機が腐食する恐れがある

参考資料２ 令和６年度の水泳指導外部化に関するアンケート結果概要

（１）児童アンケート

①外部温水プールの利用や民間指導員招致の授業について

学校	楽しかった	楽しくなかった
駒込小	443 (96.1%)	18 (3.9%)
西巣鴨小	232 (91.0%)	23 (9.0%)
高南小	220 (89.8%)	25 (10.2%)
富士見台小	238 (93.0%)	18 (7.0%)
合計	1,133 (93.1%)	84 (6.9%)

②外部温水プールや民間指導員招致の授業で水泳がうまくなったか

学校	うまくなった	うまくならなかった	分からない
駒込小	362 (76.2%)	22 (4.6%)	91 (19.2%)
西巣鴨小	162 (64.5%)	19 (7.6%)	70 (27.9%)
高南小	151 (61.1%)	13 (5.3%)	83 (33.6%)
富士見台小	175 (68.1%)	17 (6.6%)	65 (25.3%)
合計	850 (69.1%)	71 (5.8%)	309 (25.1%)

③移動について

ア) 駒込小（徒歩移動について）

設問	回答数
大変だった	96 (20.4%)
普通	194 (41.2%)
大変ではなかった	181 (38.4%)

イ) 富士見台小（バス移動について）

設問	回答数
バスを使えてよかった	192 (75.6%)
普通	45 (17.7%)
バスは使いたくない	17 (6.7%)

④来年度の授業について

ア) 駒込小

学校	東京スイミング センターを使いたい	学校プール を使いたい	どちらでも よい	分からない
駒込小	287(58.6%)	46(9.4%)	133(27.1%)	24(4.9%)

イ) 西巣鴨小、高南小

学校	インストラクターに来てほしい	学校の先生だけでよい	分からない
西巣鴨小	178(69.8%)	50(19.6%)	27(10.6%)
高南小	171(67.6%)	45(17.8%)	37(14.6%)

ウ) 富士見台小

学校	もっと南長崎スポーツセンターを使いたい	学校のプールを使いたい	分からない
富士見台小	220(83.0%)	26(9.8%)	19(7.2%)

※一部設問に無回答の児童がいるため、各設問の回答数の和が一致しない

(2) 保護者アンケート

①水泳指導外部化トライアル時の子どもの様子

学校	楽しそう	不満そう	特段反応なし	分からない
駒込小	217(90.4%)	6(2.5%)	10(4.2%)	7(2.9%)
西巣鴨小	104(63.8%)	7(4.3%)	38(23.3%)	14(8.6%)
高南小	48(39.3%)	1(0.8%)	41(33.6%)	32(26.2%)
富士見台小	135(83.9%)	4(2.5%)	12(7.5%)	10(6.2%)
合計	504(73.5%)	18(2.6%)	101(14.7%)	63(9.2%)

②水泳指導外部化について

学校	よい取組	どちらかと言えばよい取組	どちらかと言えば悪い取組	悪い取組	分からない
駒込小	225 (93.8%)	14 (5.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
西巣鴨小	129 (79.1%)	28 (17.2%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	4 (2.5%)
高南小	91 (74.6%)	24 (14.3%)	3 (2.5%)	0 (0.0%)	4 (3.3%)
富士見台小	135 (83.9%)	23 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.9%)
合計	580 (84.5%)	89 (13.0%)	4 (0.6%)	1 (0.1%)	12 (1.7%)

③水泳指導外部化の望ましい実施形式

学校	校外温水 プール	民間指導 員招致	どちらでも よい	実施すべ きでない	分からない
駒込小	169 (70.4%)	9 (3.8%)	61 (25.4%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
西巢鴨小	37 (22.7%)	67 (41.1%)	49 (30.1%)	2 (1.2%)	8 (4.9%)
高南小	46 (37.7%)	28 (23.0%)	45 (36.9%)	1 (0.8%)	2 (1.6%)
富士見台小	76 (47.2%)	16 (9.9%)	65 (40.4%)	0 (0.0%)	4 (2.5%)
合計	328 (47.8%)	120 (17.5%)	220 (32.1%)	3 (0.4%)	15 (2.2%)

④水泳指導外部化の場合に重点的に取り組んでほしい事項（複数回答）

水泳指導中の安全確保	544
水泳指導の充実・強化	464
熱中症対策	345
校外温水プールへの移動中の安全確保	322
水泳授業時間の確保	313
プール管理等に係るコスト削減	102
その他（教員の負担軽減、泳力別の指導など）	22

(3) 教員アンケート

①児童の活動量

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	不満
駒込小	15	2	0	0	0
西巣鴨小	4	0	0	0	0
高南小	5	3	1	0	0
富士見台小	10	0	0	0	0
合計	34	5	1	0	0

②指導内容

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	不満
駒込小	16	0	0	1	0
西巣鴨小	4	0	0	0	0
高南小	5	4	0	0	0
富士見台小	10	0	0	0	0
合計	35	4	0	1	0

③安全管理

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	不満
駒込小	16	1	0	0	0
西巣鴨小	4	0	0	0	0
高南小	6	1	2	0	0
富士見台小	9	1	0	0	0
合計	35	3	2	0	0

④教員の負担軽減

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	不満
駒込小	13	3	1	0	0
西巣鴨小	4	0	0	0	0
高南小	4	3	2	0	0
富士見台小	9	0	1	0	0
合計	30	6	4	0	0

⑤移動

	問題あり	問題なし
駒込小	2	15
富士見台小	0	10

大雨の日の移動に課題があるとの
回答あり

⑥全体的な評価

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	不満
駒込小	16	1	0	0	0
西巣鴨小	4	0	0	0	0
高南小	4	4	1	0	0
富士見台小	10	0	0	0	0
合計	34	6	1	0	0

⑦泳力向上効果

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	不満
駒込小	16	1	0	0	0

⑧教員と指導員の連携

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	不満
西巣鴨小	4	0	0	0	0
高南小	1	3	3	1	0

⑨児童の反応

	概ね満足	普通	不満
駒込小	17	0	0
西巣鴨小	4	0	0
高南小	6	2	0
富士見台小	10	0	0
合計	37	2	0

⑩課題など

- ・できる児童にはより高度な指導をしてほしい。
指導員との連携がより強化できるとよい（駒込小）
- ・天候により何度も予定が変更になった。
学校・受託者互いに負担になったと感じる（西巣鴨小）
- ・指導員は毎回同じ人に来てもらいたい。
指導員が来ても高温で指導ができないことがあった（高南小）
- ・雨天時の移動は気を付ける必要がある。
外部温水プールの利用は年間を通して考えるべき
学校プールの管理について検討が必要（富士見台小）

参考資料 3-1 豊島区内の温水プール施設について

①区立施設

施設名	プール規模	500m圏内校	指定管理者等
巣鴨体育館 (巣鴨 3-8-7)	25m 5 コース	仰高小 清和小	東京ドームスポーツ 受入れ可
池袋スポーツ センター (上池袋 2-5-1)	25m 4 コース	池袋小	ピーウォッシュ 改修工事予定があり受入困難
雑司が谷 体育館 (雑司が谷 3-1-7)	25m 5 コース	目白小 高南小 南池袋小	コナミスポーツ 受入れ可
南長崎スポーツ センター (南長崎 4-13-5)	25m 8 コース	椎名町小	コナミスポーツ 受入れ可

②民間施設

施設名	プール規模	500m圏内校	備考
東京スイミング センター (駒込 5-4-21)	50m×25m	仰高小 駒込小 駒込中	受入れ可
三菱養和巣鴨 スポーツセンター (巣鴨 2-8-1)	50m×25m	仰高小 駒込小 駒込中	受入れについて要協議
セントラルウェル ネスクラブ上池袋 (上池袋 1-37-16)	25m 5 コース	西巣鴨小 豊成小	受入れ可 ただし、休館日（毎週火曜日）に 限る
TIP. X TOKYO 池袋 (西池袋 1-3-1)			25mプールなし
スポーツクラブ ルネサンス早稲田 (高田 1-19-24)	25m 6 コース	高南小 千登世橋中	受入れ可 ただし、令和7年度は改修予定 につき受入れ不可
ピーウォッシュ (長崎 5-1-23)	25m 6 コース	なし	受入れ可（近傍に学校なし）
エポック要町店 (要町 1-8-11)	20m 4 コース		25mプールなし
ジェクサー・フィ ットネスクラブ メトロポリタン池 袋(西池袋 1-6-1)			25mプールなし



参考資料 4 検討経過

令和 4 年度	・水泳指導の外部化等について検討開始 ・「小・中学校プール授業の外部化等に向けた検討会」を開催（計 2 回）
令和 5 年度	・「小・中学校プール授業の外部化等に向けた検討会」を開催（計 2 回） ・上記検討会メンバーにて葛飾区及び板橋区の水泳指導外部化の事例を視察 ・仰高小学校における水泳指導外部化のトライアル事業を実施
令和 6 年度	・小学校 4 校にて水泳指導外部化のトライアル事業を実施 ・「小・中学校プール授業の外部化等に向けた検討会」の庁内メンバーにおいてあり方について再審議

小・中学校プール授業の外部化等に向けた検討会 メンバー

役職	備考
教育部長	座長
学務課長	
指導課長	
学校施設課長	
学習・スポーツ課長	
小学校校長会代表	西巣鴨小学校校長
中学校校長会代表	池袋中学校校長

豊島区における学校プールの今後の方針について

令和6年11月発行

豊島区教育部学校施設課

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1

電 話 03-4566-2788

Email A0029257@city.toshima.lg.jp